

## りんかい線開業30周年記念事業の実施について

2026年3月16日  
東京臨海高速鉄道株式会社

東京臨海高速鉄道株式会社（りんかい線）は、令和8年（2026年）3月30日（月）に第一期事業区間（新木場駅—東京テレポート駅間）の開業から30周年を迎えます。開業以来、りんかい線をご利用いただいているお客様、共に沿線地域の発展を担ってきた沿線企業の皆様に対し、これまでの感謝の心を表すとともに、さらなる沿線地域の活性化を図るため、以下のとおり「りんかい線開業30周年記念事業」を実施します。詳細は別紙をご覧ください。

### りんかい線開業30周年記念事業

- 1 りんかい線開業30周年記念列車の運行
- 2 70-000形運行開始30周年記念乗車券の発売
- 3 りんかい線開業30周年記念特設サイトの開設
- 4 その他の記念事業の実施

### 開業30周年記念ロゴマークについて

開業30周年を記念し、記念ロゴマークおよびキービジュアルを作成しました。りんかい線の開業30周年を多くの皆様に知っていただくため、様々なイベント・広報物等において活用してまいります。



記念ロゴマーク



記念キービジュアル

お問い合わせ先 東京臨海高速鉄道株式会社 総務部総務課  
03-3527-6760（平日9時から17時）

この資料は国土交通記者会、都庁記者クラブ、ときわクラブにお届けしています

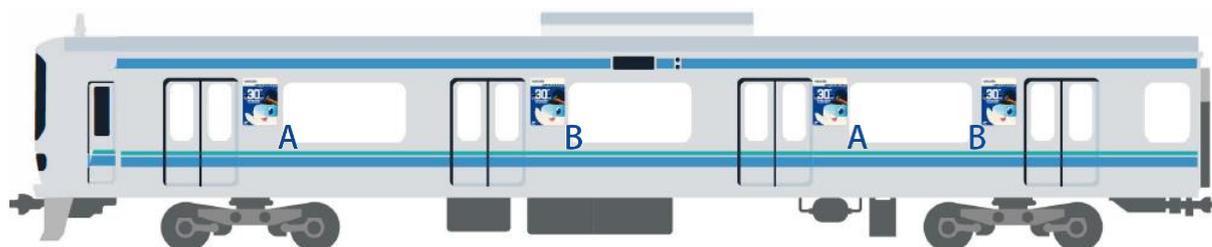
## 1 りんかい線開業30周年記念列車の運行

30周年の感謝の気持ちを込めて、2種類の30周年記念列車が期間限定で走行します。

- (1) 期 間 令和8年3月30日(月)～令和8年9月30日(水)【予定】
- (2) 編 成 数
  - ・「70-000形」1編成の車両側面にラッピング
  - ・「71-000形」1編成の1号車・10号車にヘッドマークを掲示
- (3) 運行区間 新木場～大崎～川越

### 【70-000形】

A、B2種類のキービジュアルを車体側面に交互に掲示し、走行中の車両を見ると、イメージキャラクターのりんかるが手を振っているように見える意匠といたしました。



### 【71-000形】

1号車と10号車で異なったヘッドマークを装着することで、お客さまにバリエーションをお楽しみ頂けるようにいたしました。



ヘッドマーク装着イメージ

## 2 70-000形運行開始30周年記念乗車券の発売

- (1) 発売期間 先行して令和8年3月26日（木）初電から販売を開始し、令和8年10月31日（土）まで  
※オフィシャルストアでは発売日の午前10時より発売開始。  
※所定の枚数に達し次第、発売を終了いたします。
- (2) 発売価格 1部 1,100円
- (3) 乗車券内容 D型硬券（縦30ミリ×横88ミリ） 2枚セット  
（りんかい線1日乗車券 大人用と小児用各1枚）  
※乗車券は令和8年3月30日からご利用になれます。
- (4) 発売箇所 りんかい線各駅の有人改札口（ただし大崎駅は除く。）  
りんかい線オフィシャルストア（<https://twr.theshop.jp>）
- (5) 発売部数 2,000部
- (6) 台紙意匠 第一期開業以来運行してきた70-000形の写真に加え、編成組換図を載せ、資料としても価値あるものとしています。
- (7) その他 ・払戻しの際は、有効期間内で未使用かつ付属品（台紙）が揃っている場合に限り、手数料220円をいただき払戻しいたします。  
・券番号「0001」はオフィシャルストアにて取扱います。



表面



裏面

## 3 りんかい線開業30周年記念特設サイトの開設

開業30周年記念事業における情報発信のため、「りんかい線開業30周年記念特設サイト」を開設します。特設サイトでは、イベント・キャンペーン等の告知やご案内のほか、グッズの紹介、沿線紹介などの企画を順次ご用意します。

- (1) 開設時期 令和8年3月30日（月）から9月30日（水）まで【予定】
- (2) URL <https://www.twr.co.jp/Portals/0/30th/index.html> 記念特設サイト（イメージ）
- (3) 今後の掲載予定内容
  - イベント・キャンペーン等の告知
  - グッズの紹介
  - りんかい線社員メッセージの発信
  - 沿線の紹介



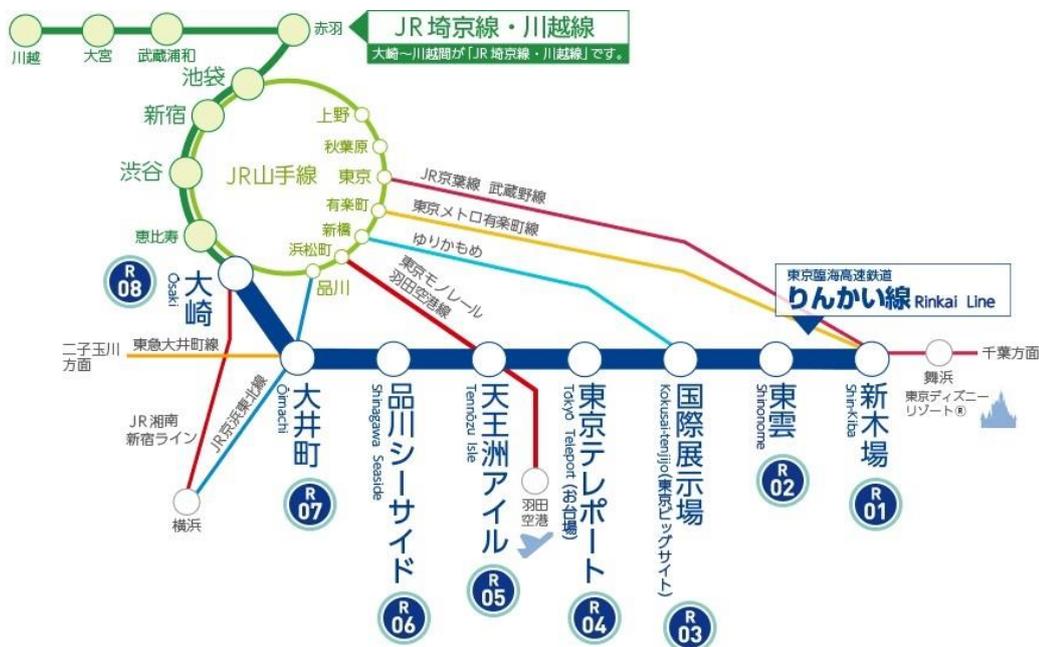
## 4 その他の記念事業の実施

上記以外にも、周辺企業と連携した企画やグッズの販売などを予定しております。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしてまいります。

実施内容は変更になることがございます。予めご了承ください。

## 「東京臨海高速鉄道株式会社りんかい線」の概要

- (1) 営業区間 新木場 ～ 大崎 (12.2km)  
 (2) 駅数 7駅 (新木場、東雲、国際展示場、東京テレポート、天王洲アイランド、品川シーサイド、大井町)



- (3) 列車編成 10両 (定員70-000形1, 540人、71-000形1, 544人)

### (4) 沿革

1983年 (昭和58年)	7月	京葉貨物線 (新木場～東京貨物ターミナル) の建設凍結
1985年 (昭和60年)	7月	運輸政策審議会が京葉貨物線の旅客化を答申
1987年 (昭和62年)	6月	東京都「臨海部副都心開発基本構想」発表 ⇒「京葉貨物線の一部区間 (新木場～臨海副都心) の旅客線としての活用を推進しながら、さらに羽田・鶴見までの旅客化及び大崎への接続について検討」との方向付けがなされる。
1989年 (平成元年)	10月	関東地方交通審議会東京部会が臨海部新線を答申
1990年 (平成2年)	11月	「第三次東京都長期計画」発表 ⇒・「臨海副都心への交通アクセスを強化し、東京の都市構造を多心型へ再編・誘導するため」、京葉線の旅客化延伸事業の推進を計画化 ・新木場～東京テレポート～大井町～大崎
	12月	「東京臨海高速鉄道株式会社」設立発起人会開催 (発起人:東京都、東日本旅客鉄道株式会社、金融機関4行等8名)
1991年 (平成3年)	3月	「東京臨海高速鉄道株式会社」設立 (出資者:東京都、東日本旅客鉄道株式会社等75団体)
	11月	第一期事業区間 (新木場～東京テレポート) の第一種鉄道事業免許取得
1994年 (平成6年)	5月	第二期事業区間 (東京テレポート～大崎) の第一種鉄道事業免許取得
1996年 (平成8年)	3月	第一期事業区間 (新木場～東京テレポート) 開業
2000年 (平成12年)	6月	路線愛称名「りんかい線」を決定 (9月より使用開始)
2001年 (平成13年)	3月	東京テレポート～天王洲アイランド開業
2002年 (平成14年)	12月	天王洲アイランド～大崎開業 (全線開業)、JR埼京線との相互直通運転開始
2010年 (平成22年)	4月	乗車人員累計5億人達成を公表
2013年 (平成25年)	3月	平成24年度決算にて通年で初めて経常収支の黒字化達成
2016年 (平成28年)	6月	乗車人員累計10億人達成を公表
2025年 (令和7年)	10月	新型車両「71-000形」営業運転開始
2026年 (令和8年)	3月	開業30周年 (参考:2月までの乗車人員累計1,772,738,483人)